



共同獣医学部学術セミナー

演題: てんかん発作により脳に生じる変化～神経細胞死の病理発生および神経新生に関する病理学的研究～

講師: 櫻井 優(山口大学大学院連合獣医学研究科)

開催日時: 6月30日(月)15:00-16:00

場所: 山口大学連合獣医学研究棟4階大講義室

講演要旨: 「てんかん」は脳の神経細胞の過剰な興奮により、発作を繰り返す慢性の脳疾患です。てんかんは脳疾患の中でも発症率が高く、今も多くの人および動物がてんかん発作に苦しめられています。また、てんかん発作は脳に様々な影響を与えると考えられていますが、その詳細は明らかになっていません。私はこれまで、てんかん発作により脳に生じる変化として神経細胞死および神経新生に注目し、てんかん家系犬ならびにてんかんモデルラットの脳について研究してきました。神経細胞死および神経新生は、てんかんの病態悪化につながる可能性のある重要な病変です。その詳細は、てんかんの治療方法を考える上で有用な情報となると思われます。これまでの研究を通して、てんかんの脳に生じる様々な変化をご紹介します。と思います。

問合せ先: 森本将弘(内線5892)